

平成23年度 福井型コミュニティ・スクール推進事業実施報告書
『 いまいちど温故知新 』～それぞれの歴史のひもを解こう～

若狭町立上中中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	7回 (のべ) 7日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	3人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	30人
登下校支援ボランティア	7人
その他 ()	0人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」～地域の達人に学ぶ～

1 ねらい

新学習指導要領では、「生きる力」を育む理念を継承し、学校は家庭や地域とともに生徒を育てていくという視点に立ち、開かれた学校づくり魅力ある学校づくりを進めていくことがうたわれている。

本校は、これまでも学校支援ボランティアの方々の協力により、外部指導者（地域の教育力）による特別授業を展開し、子どもたちに豊かな感性と情操を育む教育を推進してきた。4年前からの研究指定（学校支援地域本部・豊かな体験活動推進事業）の観点からも、更なる学校支援ボランティアの方との連携を強化し、本校の教育目標達成に努めたい。

2 活動の目標

- ①個々の興味・関心を生かしながら、地域の有識者の指導を受け、自己の新たな可能性を发掘し、豊かな感性を育みながら将来の生き方や夢・職業選択に向かって積極的に考える態度を養う。
- ②各分野における地域の専門家の指導を受けながら、知識・技能の習得を図るとともに、表現する喜びを体得させ未来を拓く一助とする。

3 実施時期

平成23年9月1日（木）・2日（金）・5日（月）の3日間

3・4限の2時間×3日＝6時間

4 対象学年 全校生徒 合計260名



5 コース

- ①俳句 ②書道 ③調理 ④手芸 ⑤着付け ⑥絵画 ⑦陶芸 ⑧生け花 ⑨写真・映像
⑩木工 ⑪将棋 ⑫囲碁 ⑬茶道 ⑭合唱 ⑮剣舞 ⑯和太鼓

6 指導計画

6月中…担当教員の割振りと渉外 7月上旬…全校オリエンテーションと希望調査調整

7月中旬…コース決定。担当教員と受講生徒の打ち合わせ 8月中…指導者との打合せ

成果と課題

○生徒の意欲や学習への取り組み方が素晴らしく、講師の方からの評価も高かった。

○選択集中学習の直後にあった学校祭を利用して、この学習で制作した物を展示したり全校生徒の前で舞台発表したりして、学習の成果が披露できた。

●ボランティアと言えども、仕事を休んで協力してくださる方に対して謝礼が確保できない。